大学・高専機能強化支援事業（支援１：学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援）
実施状況報告書

選定年度	令和5年度	学校コード	F113310103368	設置等組織名	環境イノベーション学部環境イノベーション学科
大学名	東洋大学	設置区分	私立		
学校種	大学	都道府県	東京	事業計画名	環境イノベーション学部設置計画

1.年度別の計画及び取組状況

年度別の事業計画と取組状況、自己評価を記載してください。
当初計画から変更又は追加した取組は赤字で記載し、計画変更の承認を受けた計画については、末尾に承認日を赤字で記載してください。
計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある等、自己評価が下位2つの場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

事業期間	事業計画	取組状況	自己評価、課題（理由）とその対応	
令和5年度	1-① 令和５年11月まで アカデミックプランの概略整理（DP・CP・AP整理、カリキュラムマップ整理、志願者ニーズ・人材ニーズの予備調査等）（川越キャンパス将来構想委員会にて） 1-② 令和５年11月から アカデミックプランの詳細整理（カリキュラムの確定、教員配置決定→募集、外部機関と連携した教育システムの構築、志願者ニーズ・人材ニーズの詳細調査等）（新学部設置準備委員会にて） 1-③ 令和５年11月から 新棟（ゼロ・カーボン（カーボンストック・ZEB仕様））建設等の教育研究環境の詳細整理	1-① 令和５年11月まで アカデミックプランの概略整理（DP・CP・AP整理、カリキュラムマップ整理、志願者ニーズ・人材ニーズの予備調査等）（川越キャンパス将来構想委員会にて） 1-② 令和５年11月から アカデミックプランの詳細整理（カリキュラムの確定、教員配置決定→募集、外部機関と連携した教育システムの構築、志願者ニーズ・人材ニーズの詳細調査等）（新学部設置準備委員会にて） 1-③ 令和５年11月から 新棟（ゼロ・カーボン（カーボンストック・ZEB仕様））建設等の教育研究環境の詳細整理	令和5年度自己評価	【３】計画を十分に実施している。
令和6年度	1-② 令和５年11月から アカデミックプランの詳細整理（カリキュラムの確定、教員配置決定→募集、外部機関と連携した教育システムの構築、志願者ニーズ・人材ニーズの詳細調査等）（新学部設置準備委員会にて） 1-③ 令和５年11月から 新棟（ゼロ・カーボン（カーボンストック・ZEB仕様））建設等の教育研究環境の詳細整理 2前-① 令和６年４月から 新棟基本設計→詳細設計	1-② 令和５年11月から アカデミックプランの詳細整理（カリキュラムの確定、教員配置決定→募集、外部機関と連携した教育システムの構築、志願者ニーズ・人材ニーズの詳細調査等）（新学部設置準備委員会にて） 1-③ 令和５年11月から 新棟（ゼロ・カーボン（カーボンストック・ZEB仕様））建設等の教育研究環境の詳細整理 2前-① 令和６年４月から 新棟基本設計→詳細設計	令和6年度自己評価	【３】計画を十分に実施している。
令和7年度	1-② 令和５年11月から アカデミックプランの詳細整理（カリキュラムの確定、教員配置決定→募集、外部機関と連携した教育システムの構築、志願者ニーズ・人材ニーズの詳細調査等）（新学部設置準備委員会にて） 1-③ 令和５年11月から 新棟（ゼロ・カーボン（カーボンストック・ZEB仕様））建設等の教育研究環境の詳細整理 1-④ 令和７年11月 新学部設置の事前相談提出 2前-① 令和６年４月から 新棟基本設計→詳細設計 2前-② 令和７年10月から 施工（~~令和８年12月~~令和９年１月竣工予定）（R8.3.16承認）	1-② 令和５年11月から アカデミックプランの詳細整理（カリキュラムの確定、教員配置決定→募集、外部機関と連携した教育システムの構築、志願者ニーズ・人材ニーズの詳細調査等）（新学部設置準備委員会にて） 1-③ 令和５年11月から 新棟（ゼロ・カーボン（カーボンストック・ZEB仕様））建設等の教育研究環境の詳細整理 1-④ 令和７年11月 新学部設置の事前相談提出 2前-① 令和６年４月から 新棟基本設計→詳細設計 2前-② 令和７年10月から 施工	令和7年度自己評価	【３】計画を十分に実施している。
令和8年度	令和８年４月 環境イノベーション学部環境イノベーション学科 学科の設置届出予定 2-③ 令和７年10月から 施工 2-④ ~~令和８年12月~~令和９年１月 竣工（R8.3.16承認） 2-⑤ 令和９年１月から 設備備品の搬入・据え付け		令和8年度自己評価	リストから選択してください。
令和9年度	令和９年４月 環境イノベーション学部環境イノベーション学科開設予定（入学定員140名、工学・理学関係） 3-① 令和９年４月から 新棟（ゼロ・カーボン（カーボンストック・ZEB仕様））の運用開始（測定開始）		令和9年度自己評価	リストから選択してください。
令和10年度	3-① 令和９年４月から 新棟（ゼロ・カーボン（カーボンストック・ZEB仕様））の運用開始（測定開始） 3-② 令和10年４月から 外部機関との連携等によるPBL開始 3-③ 令和10年10月から 留学生の就職支援開始		令和10年度自己評価	リストから選択してください。
令和11年度	3-① 令和９年４月から 新棟（ゼロ・カーボン（カーボンストック・ZEB仕様））の運用開始（測定開始） 3-② 令和10年４月から 外部機関との連携等によるPBL開始 3-③ 令和10年10月から 留学生の就職支援開始		令和11年度自己評価	リストから選択してください。
令和12年度	3-① 令和９年４月から 新棟（ゼロ・カーボン（カーボンストック・ZEB仕様））の運用開始（測定開始） 3-② 令和10年４月から 外部機関との連携等によるPBL開始 3-③ 令和10年10月から 留学生の就職支援開始		令和12年度自己評価	リストから選択してください。
認可申請 又は届出	令和８年４月 環境イノベーション学部環境イノベーション学科 学科の設置届出予定	令和８年４月 環境イノベーション学部環境イノベーション学科 学科の設置届出		
定員減又は 学部等の廃止	令和８年４月 理工学部機械工学科54名減員（入学定員126人、工学関係・理学関係）、理工学部応用化学科33名減員（入学定員113名、工学関係・理学関係）、理工学部都市環境デザイン学科13名減員（入学定員100名、工学関係・理学関係）、第２部文学部日本文学文化学科5名減員（入学定員45人、文学関係）、第２部文学部教育学科5名減員（入学定員35名、教育学・保育学関係）、第２部経済学部経済学科20名減員（入学定員130人、経済学関係）、第２部社会学部社会学科10名減員（入学定員120人、文学関係・経済学関係・法学関係）に係る届出予定	令和８年４月 理工学部機械工学科54名減員（入学定員126人、工学関係・理学関係）、理工学部応用化学科33名減員（入学定員113名、工学関係・理学関係）、理工学部都市環境デザイン学科13名減員（入学定員100名、工学関係・理学関係）、第２部文学部日本文学文化学科5名減員（入学定員45人、文学関係）、第２部文学部教育学科5名減員（入学定員35名、教育学・保育学関係）、第２部経済学部経済学科20名減員（入学定員130人、経済学関係）、第２部社会学部社会学科10名減員（入学定員120人、文学関係・経済学関係・法学関係）に係る届出		

フォローアップ対象年度	令和7年度	大学名	東洋大学

2.申請資格の確認

ⅰ） 学生募集停止中の大学
ⅱ） 学校教育法第109条の規定に基づき文部科学大臣の認証を受けた者による直近の評価の結果、「不適合」の判定を受けている大学
ⅲ）「私立大学等経常費補助金」において、定員の充足状況に係る基準以外の事由により、前年度に不交付又は減額の措置を受けた大学
ⅳ） 設置計画履行状況等調査において、「指摘事項（法令違反）」が付されている大学
ⅴ） 大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準（平成15年文部科学省告示第45号）第２条第１号又は第２号のいずれかに該当する者が設置する大学

上記項目の申請資格の状況について、プルダウンで選択してください。（プルダウンの選択肢：すべての項目に該当していない、右の〇の項目に該当している）

申請資格の状況	ⅰ）	ⅱ）	ⅲ）	ⅳ）	ⅴ）
すべての項目に該当していない					

3.申請要件の取組状況

① 高等教育の修学支援新制度において、大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第８号）に基づき、財務状況や収容定員充足率が適正であることを含めた要件を満たすことの確認を受けた大学であること。なお、新設予定の大学で、応募時点において、高等教育の修学支援新制度における要件確認の対象に該当しないものは、本要件は適用されない。

② 十分な学生確保の見通しを備えた計画となっていること。

③ 産業界を含む社会のニーズ等を踏まえ、学修目標の具体化、体系的な教育カリキュラムの編成及び大学での学修に必要な資質・能力等を評価する入学者選抜が適切に実施され、そのための体制を構築する計画となっていること。（その際、国際的な質保証の枠組みを活用するなど出口における質保証にも十分留意することが重要。

④ 特定成長分野の人材を育成するための戦略、適切な管理・教育体制や教育研究環境の整備を図る計画となっていること。

⑤ 計画の対象となる学部等において、実務経験のある教員等による授業科目を配置する計画となっていること。

⑥ 特定成長分野に係る学部の設置等（学部若しくは学科の設置又は収容定員の増加）による組織の変更を伴う学部再編等の計画であること。

⑦-1 社会において具体的な人材ニーズが現に存在する、又は、その十分な見通しのある分野に係る学部等の設置等に取り組む計画であること。

⑦-2 学部又は学科の設置を行う場合、地域における特定成長分野の人材を必要としている複数の企業等と設置構想に関する事前協議を行う計画であること。

⑧ 入学定員が20名以上増加する計画であること。

⑨ 事業計画の選定があった日から４年を経過する日を含む年度の末日までに、計画の対象となる学部等の設置等を行うことを目指す計画であること。（本事業の申請時に既に設置認可申請又は届出を行っている場合を除く。）

⑩ 大学の総収容定員充足率（在籍学生数の収容定員に対する割合）について、計画の対象となる学部等の設置等に係る設置認可申請又は届出までに80%を満たす計画であること。

⑪ フェーズ３の助成期間終了時までに、大学全体の外部資金獲得額を申請時点の平均（過去５年間の中央値３年分の平均）に本事業による支援額の2.5%を上乗せした水準以上とする計画であること。

⑫ 計画の対象となる学部又は学科において、自大学以外の機関との連携を通じた教育体制の整備と教育の実施及び多様な入学者の確保に向けた取組を行う計画であること。

⑬ 選定された大学は、公募要領に定める申請要件を満たす質の高い教育等に向けた計画の具体化に努めるとともに、その進捗報告を行うこと。また、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構法第十六条の三に規定する助成業務の実施に関する方針（令和５年４月13日文部科学大臣認可）六（２）②に基づき機構が実施する会議に参加すること。

⑭ 文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。

上記項目の①～⑬の申請要件について、　令和7年度　の取組の状況についてプルダウンで選択してください。（プルダウンの選択肢：すべての項目が要件を満たしている、右の〇の項目の要件を満たしていない）

申請要件の状況	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦-1	⑦-2	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬
すべての項目が要件を満たしている														

①～⑬の要件を満たしていない又は対象ではない項目がある場合、左欄に該当する申請要件を選択し、右欄に課題（理由）とその対応について記載してください。

項目	課題（理由）

⑭については、現在の状況をプルダウンより選択してください。

申請要件⑭について	現在の状況
⑭文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。	認定を受けておらず申請する意向もない

4.審査要項における確認項目の計画及び取組状況

令和7年度 の取組実績を記載し、申請時に選択した項目にチェックを入れた計画を記載してください。取組実績は会社名や大学名、定量的なデータ等を示し具体的に記載してください。検討中であっても状況を記載してください。
計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

【A：連携を通じた教育体制の整備と実施】（連携開設科目等に限らない）

■ チェック　a.企業や自治体と連携した科目（PBL等）の整備・実施
■ チェック　b.関連分野に強みを持つ地域の他大学と連携した科目の整備・実施
■ チェック　c.関連分野に強みを持つ海外大学との連携（連携した科目や交換留学プログラムの整備・実施等）

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
産官学連携のパートナーとして計画している国立環境研究所、埼玉県環境科学国際センター等研究機関、（株）大林組、戸田建設（株）等一般企業、埼玉県環境部等行政機関などの職員およびサイエンスライター等を外部講師として招聘し、地域や企業が抱える実際の環境・エネルギー問題について、学生を中心としたワークショップにより課題解決（課題発見）を図ることを目的とした授業科目を複数開講する。また、学部2年次3年次の主に夏季休暇を利用したインターンシップ、地域連携実習を授業科目とし、行政や企業等の実態を踏まえたPBL学習にも取り組む。上記、ワークショップに関しては、過去に実績のある近隣の芝浦工業大学、東京電機大学等と連携し、共同で実施することも想定している。また、チュラロンコン大学（タイ）、カメリーノ大学（イタリア）、ストラスブール大学（フランス）等と協定を既に締結し、環境配慮や防災配慮を踏まえた交換留学プログラムを整備しており、それらの連携を強化していく予定である。	年度内に当該学部の教員採用手続きを計画通り完了し、幅広い分野の専門家や豊かな実務経験を有する実務家教員を配置する体制を確立した。これにより、申請時の計画である産官学連携の推進に向けた指導体制が整った。また、カリキュラムにおける学外連携の具体化も本格化した。1～3年次のコア科目として位置づける「実地研修Ⅰ」、「実地研修Ⅱ」、「インターンシップ」の実施に向け、協力を仰ぐ企業・行政団体を開拓し、計23団体の参画が予定されている(今後も参画企業・団体を募る予定)。さらに、本学部が目指す方向性の一つである「地域循環型社会」の実現を目指すNTT東日本との連携も検討を進めており、上記コア科目における実践的な学修フィールドやPBLプログラムの提供を受ける予定である。国立環境研究所、埼玉県環境部(および埼玉県環境科学国際センター)とは、学部設置届出の受理以降、連携協定を締結する方向で具体的な協議を推進している。他大学との連携においては、令和8年度に開設された立教大学環境学部との間で新たなネットワークを構築した。双方の開設後、互いの教育・研究リソースを補完し合う有機的な連携を深めるべく、大学間および学部間で意見交換を実施し、今後の協力関係の構築について合意した。さらに、海外の協定校からも連携に関する前向きな反応が寄せられており、Simon Fraser University（カナダ）、Bandung Institute of Technology（インドネシア）といった機関との関係強化を含めて、今後は国際連携のさらなる強化を図る計画である。	

【B：多様な入学者の確保に向けた取組】

■ チェック　a.入学者選抜における科目の見直し
■ チェック　b.女子学生の確保（志願者数増）に向けた取組
■ チェック　c.地域の初等中等教育段階の学校との連携（出張授業の実施等）
■ チェック　d.社会人学生の受入れ強化に向けた取組（リカレント・リスキリングへの対応）
■ チェック　e.留学生の受入れ強化に向けた取組

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
周辺地域の高等学校等への説明会、オープンキャンパス等で多様な入学者選抜方法について説明を行う。入学者選抜における一般選抜では、共通テスト利用、理数英3科目、国数英3科目等多様な入試科目を設定する。また、総合型選抜（AO型・自己推薦）・学校推薦型選抜の他、留学生日留試利用枠・社会人特別枠（学校教員の再研修を含む）を拡充すると共に、大学入学前の段階における対象者への研究・学習指導等を通じてこれらの受験率を高める。女子学生の確保に向けては、女子高との連携を強化し、協定校や出張模擬講義の拡大を図る他、現在、全学プロジェクトにおいて、理系女子学生増加に向けた取り組みを立案している。また埼玉県内の武蔵越生高校他10校と高大連携プログラム、本学附属高校（京北・牛久・姫路）・協定校（麹町学園女子等）への模擬講義・科学講座、川越市内小中学校での大学生による学習ボランティア等を実施しており、これらの連携を強化していく計画である。	令和7年度においては、多様な志願者の受け入れに向けた入学者選抜制度の具体化、および女子学生の確保や高大連携の強化に向けた基盤構築が着実に進展した。まず、入学者選抜の策定においては、文系・理系の出身を問わず幅広い優秀な人材を募るため、すべての選抜方式において文系・理系双方の試験科目の選択を可能とする柔軟な制度設計を完了した。 女子学生の確保および高大連携の推進に向けては、本学部が設置される川越キャンパス所属の理工学部および総合情報学部とともに、同キャンパス近隣の女子高等学校との連携強化に向けた計画を策定した。併せて、理科教育や探究学習に注力する高等学校や、スーパーサイエンスハイスクール（SSH）指定校との新たな連携を推進すべく、すでに該当校との間で具体的な意見交換を開始しており、申請時の計画である高大連携プログラムのさらなる拡大・強化に向けて着実な進捗が見られた。外国人留学生入試を設け、留学生の受け入れを積極的に行っていく。さらに、本学部を基礎とする大学院研究科の同時開設を見据え、社会人のリスキリングおよびリカレント教育のニーズに柔軟に対応しうる教育体制の構築を進めている。届出受理以降、本格的な学生募集活動を開始するにあたり、多様な入学者を確保すべく各方面へのPR活動に力を入れていく方針である。	

大学名	東洋大学

本事業対象となる学部等の個数	1

１.本事業対象となる学部等の状況

<内訳>

(1)

改組内容	学部の新設（当該大学が授与する学位の分野の変更を伴わないもの）
学部学科名	環境イノベーション学部環境イノベーション学科（工学・理学関係）

					R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
		年度			R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
		改組状況			選定			届出	開設													
大区分	小区分	項目		単位																		
	事業計画に定める定員	入学定員		人	-	-	-	-	140													
		編入学定員		人	-	-	-	-	-													
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員		人	-	-	-	-	140													
		入学者数		人	-	-	-	-														
			女子学生数	人	-	-	-	-														
			社会人学生数	人	-	-	-	-														
			留学生数	人	-	-	-	-														
	その他の学期	入学定員		人	-	-	-	-														
		入学者数		人	-	-	-															
			女子学生数	人	-	-	-															
			社会人学生数	人	-	-	-															
			留学生数	人	-	-	-															
	入学者合計	入学定員(A)		人	-	-	-	-	140													
		入学者数(B)		人	-	-	-	-														
			女子学生数	人	-	-	-	-														
			社会人学生数	人	-	-	-	-														
			留学生数	人	-	-	-	-														
		入学定員充足率（B/A）		倍	-	-	-	-														
	収容定員等	収容定員(C)		人	-	-	-	-														
		編入学定員		人	-	-	-	-														
		在籍者数(D)		人	-	-	-	-														
		編入学者数		人	-	-	-	-														
		収容定員充足率（D/C）		倍	-	-	-	-														
卒業後の状況	卒業者数	卒業者数		人	-	-	-															
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数		人	-	-	-	-														
		授業科目の単位数		単位	-	-	-	-														

大学名	東洋大学

２.理･工･農学分野の学位を授与できる学部等（学士課程）の状況

大区分	小区分	項目	単位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
学生の入学･在籍状況	春季入学	入学定員	人	1,867	2,036	2,036	2,036															
		入学者数	人	1,962	2,154	2,159	2,127															
		女子学生数	人	583	688	731	706															
		社会人学生数	人	1	0	5	4															
		留学生数	人	43	72	87	64															
	その他の学期	入学定員	人	-	-	-	-															
		入学者数	人	-	-	-																
		女子学生数	人	-	-	-																
		社会人学生数	人	-	-	-																
		留学生数	人	-	-	-																
	入学者合計	入学定員(A)	人	1,867	2,036	2,036	2,036															
		入学者数(B)	人	1,962	2,154	2,159	2,127															
		女子学生数	人	583	688	731	706															
		社会人学生数	人	1	0	5	4															
		留学生数	人	43	72	87	64															
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.05	1.06	1.06	1.04															
	収容定員等	収容定員(C)	人	7,518	7,637	7,756	7,975															
		編入学定員	人	0	0	0	0															
		在籍者数(D)	人	7,785	8,040	8,355	8,576															
		編入学者数	人	17	25	17	4															
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.04	1.05	1.08	1.08															
卒業後の状況	卒業者数	卒業者数	人	1,766	1,702	1,729																
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	65	65	84	99															
		授業科目の単位数	単位	488	508	515	604															

大学名	東洋大学

３.大学（学士課程）の状況

大区分	小区分	項目	単位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	7206	7375	7375	7375															
		入学者数	人	7615	7895	7912	7676															
	その他の学期	入学定員	人	0	0	0	0															
		入学者数	人	5	5	12																
	入学者合計	入学定員(A)	人	7,206	7,375	7,375	7,375															
		入学者数(B)	人	7,620	7,900	7,924	7,676															
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.06	1.07	1.07	1.04															
	収容定員等	収容定員(C)	人	28924	28993	29112	29331															
		編入学定員	人	0	0	0	0															
		在籍者数(D)	人	30153	30757	31494	31805															
		編入学者数	人	70	63	24	15															
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.04	1.06	1.08	1.08															

４.外部資金の状況（全学）

項目	単位	H30年度 申請−5年	R1年度 申請−4年	R2年度 申請−3年	R3年度 申請−2年	R4年度 申請−1年	R5年度 選定	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度 開設	R10年度	R11年度	R12年度 完成年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度
外部資金獲得額	千円	544,225	529,283	695,456	629,675	593,728	783,145	950,713	1,010,912											

項目	単位	
申請時点の外部資金獲得額平均 （過去5年間における各年度の外部資金獲得額	千円	589,209
本事業による助成金の額(F)	千円	1,380,500
フェーズ３の助成期間終了時までに達成する額 (E+F×2.5%)	千円	623,722

特記事項

・収容定員等のうち編入学定員０人とは、「若干名」を意味しています。なお、編入学試験を実施しているすべての学部学科に該当します。
・大学（学士課程）の状況のうち、その他の学期の入学定員０人とは、若干名を意味しています。